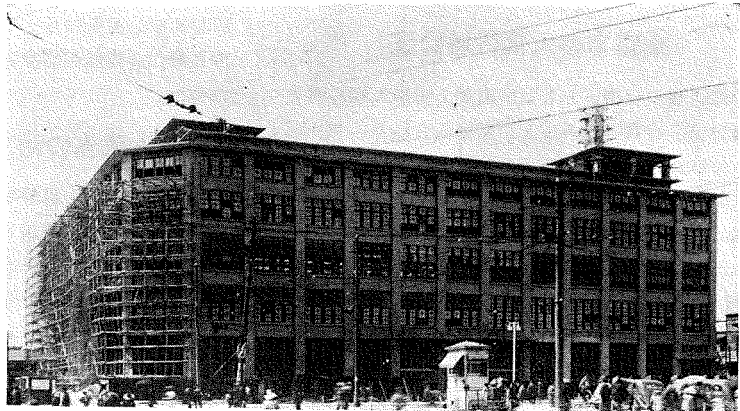


## 大阪中央郵便局

時局の影響をうけて中止の憂目を見んとした大阪中央局工事は其後建物の性質上完成を急ぐ必要があるので工事が續行される事となつた。



## 丸之内通信

### 朝鮮の電力開發着々緒につく

朝鮮における電力事業は總督府の統制方針に則り着々第一期計畫の進捗が期せられつつあるが、朝鮮國境における鴨綠江水電の開發の具體化、同支流における虛川江、江界水電の開發も漸く緒につき南鮮地方の火力發電も整備充實を見る運びとなりこれにともなふ送電施設も整備の段階に進まんとし朝鮮工業化は躍進の一途を辿らんとしてある、朝鮮發送電統制の方針は中鮮以北は咸鏡南道における長津江および黃院江の二大水力ならびに鴨綠江の本流水力を根基として統制し、南鮮は江原道の寧越火力發電および江陵水力などを根基として統制することに計畫せられてゐること既定の事實であるが、總督府の狙ふ第一期計畫は來る昭和15年までに實現の豫定とされ、その發表による内容の主なる工事狀況（豫定を含む）は次の通りである。

#### (A) 水力發電所

- △鴨綠江水力（一部着工中）使用河川鴨綠江本流、發電所位置平安北道七ヶ所、總出力約160萬KW、電力消化方法發生電力は原則として朝鮮及滿洲に夫々二分の一づゝ供給する。
- △長津江水力（工事完成）使用河川鴨綠江支流たる長津江及び城川江、發電所位置咸鏡南道四ヶ所、總出力32萬KW、電力消化方法一部は電氣化學工業、一部は平壤、京城、咸鏡南道地方の一般需要

に充つ。

- △黃院江水力（設計測量中）使用河川鴨綠江支流の虛川江、發電所位置咸鏡南道六ヶ所、總出力225,000KW、電力消化方法一部は電氣化學工業、一部は咸鏡北道地方の一般需要に充つ。
- △江界水力（工事中）使用河川鴨綠江支流の長津江、發電所位置平安北道四ヶ所、總出力27萬KW、電力消化方法大半を電氣化學工業に、残り電氣工業者に供給す
- △江陵水力（着工準備中）使用河川漢江上流、發電所位置江原道五ヶ所、總出力82,000KW、電力消化方法南鮮地方の一設需要に充つる。

#### (B) 火力發電所

- △寧越火力（工事進捗中）位置江原道、出力10萬KW以上、電力消化計畫南鮮地方の一般需要に充つ
- ▽徳川火力（設計中）位置平安南道、出力10萬KW以上、電力消化計畫長津江水力と併せ西鮮及び中鮮地方の一般需要に充つ。
- ▽道溪火力（設計中）位置江原道出力25,000KW以上、電力消化計畫、南鮮地方に於ける電源の一部に充つ。
- ▽三陟火力（着工準備中）位置江原道、出力10萬KW以上、電力消化計畫三陟地方の電氣化學工業に供給。
- △開慶火力（設計中）位置慶尙北道、出力5萬KW以上、電力消化計畫南鮮地方に於ける電源の一部

に充つ。

## 東京市の大飛行場計畫

國際情勢の變遷にともなひ産業上軍事上都心近くに飛行場の建設されることが當然とされるに至り東京市ではこれがため東京市飛行場計畫を樹立し軍部、逓信、内務各省と種々折衝をなしたが、該計畫は城東區砂町地先海面を埋立て約50萬坪の飛行場とするため總經費1,200萬圓を要し其半額を政府補助に仰ぐことにし3ヶ年繼續事業とするもので600萬圓の國庫補助が決定すれば一切の準備計畫が終つてゐるので直ちに實現に着手しうるわけである、しかしこの國庫補助については目下大藏省に於て査定中であるが市都市計畫課では今月中に決定するものとみてゐる。決定の場合は市港灣部が工事に當るほか一部乃至半分位は入札によらねばならぬともみられてゐるが國庫補助が豫想通りであれば來年一月頃よりは着工し得る運びとなる筈である。

## 護岸工事に竹筋コンクリート

鐵鋼統制の強化による土木建築界の影響は承知の如くでありこれが対策はあらゆる團體、諸官廳に於て研究をなされつゝあるが、東京市港灣部では今回竹筋コンクリート構造を東京港の護岸工事に施工し鐵筋コンクリートに代用することになり注目を惹いてゐる、即ち市港灣部では従來東京港の護岸工事は鐵筋コンクリート構造を採つて來たものであるが、鐵鋼統制以來は鐵の入手難のため殆んど護岸工事が出来なくなつたのに鑑み、その打開策として竹筋コンクリートを採用することとなり種々研究調査

を重ねてゐたところ今回その成案を得たので近くこれを比較的重要なならざる護岸工事に施行しその結果の良好なる時は相當廣範圍に互つて施行することになつた。

## 大藏省の耐火木造建築成案

都市防備施設の根幹をなす耐火建築の重要性は時局の進展に伴つて倍加され、建築界をあげての最重要問題として研究中にあるが物資動員計畫によつて鐵材の使用を極度に抑壓して居る關係から耐火木材によつて目的の貫徹を圖らねばならず従つて耐火塗料、耐火劑の製造發明は關係方面で頻りと行はれて居るが大藏省營繕管財局では獨自の見解から木造建築の耐火化に努力する方針のもとに池田工務部長小島、下元、伊部の各課長指揮のもとに第一技術課において鋭意研究を進めた結果近く成案を得る段取となつた、即ち管財局今回の研究は既設可燃性建築に對する處置はもとより今後新設すべき木造建築に對して行はんとするもので、前者に對しては強固な不燃性の外壁を構築し後者に對しては特殊耐火劑の發明に成功を見た模様であるが詳細は近く發表されるものと見られ多大の期待を寄せられる。

## 中北支の土建工事界本格化

物資使用節約の高度化に基く鐵綱工作物築造許可規則、臨時資金調整法米松販賣取締規則などの各種非常立法の實施によつて土木建築工事は著しき制限を加へられ時局産業の生産力擴充施設及び官廳工事の一部を除いては期待すべき工事は皆無の情態となつたため請負業者は舉つて (以下260頁へ)

<b>土木建築工事畫報</b> 第十四卷 第十二號 定價金七拾錢 (稅二錢)		每月一冊一日發行 一年十二冊發行
普通購讀料 壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月 貳圓 稅共 六ヶ月 四圓 同 一ヶ年 八圓 同 外國一部 稅 共 七十八錢	昭和十三年十一月廿六日印刷納本 昭和十三年十二月一日發行 編輯兼印刷發行人 <b>岡崎保吉</b> 東京市豊島區長崎仲町二丁目三六二九 <b>共同印刷株式會社</b> 東京市小石川區久堅町百八番地	<b>關西支局</b> 大阪市浪速區惠美須町2丁目13 <b>工事畫報社支局</b> <b>電話 或 86 番</b>
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し六、ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	<b>發行所 工事畫報社</b> 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 九ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	<b>大賣捌所</b> 東京堂・東洋堂 大東館・北陸館



株式會社

# 東京衡機製造所

社長 工學博士 伊東久米藏

本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地  
工場 東京市品川區北品川四丁目五一六番地

電話九ノ内(23)一七八七番 一九二四番  
電話大崎(49)一八八五番

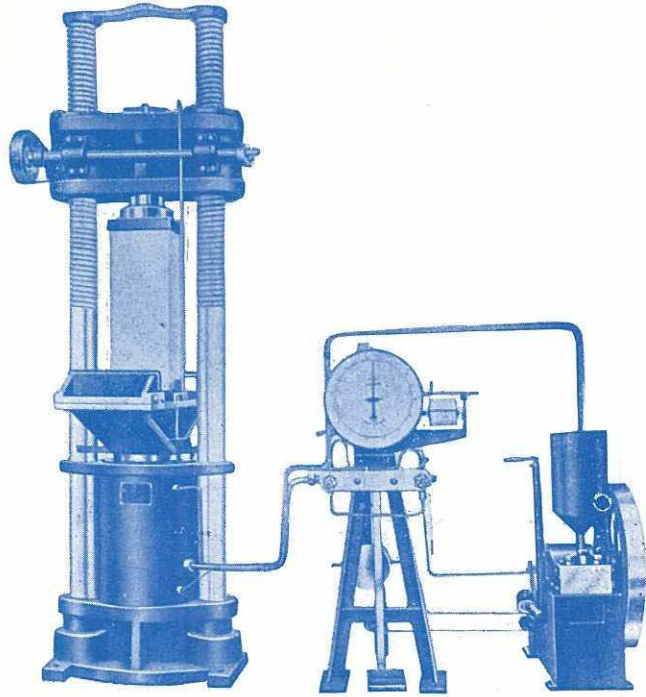
## 營業科目

各種材料試驗機  
各種道路材料試驗機  
各種動力試驗機  
各種材料試驗機

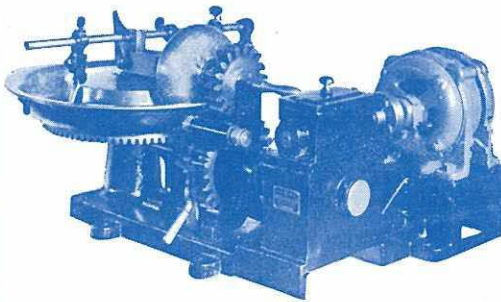
試驗機

衡器

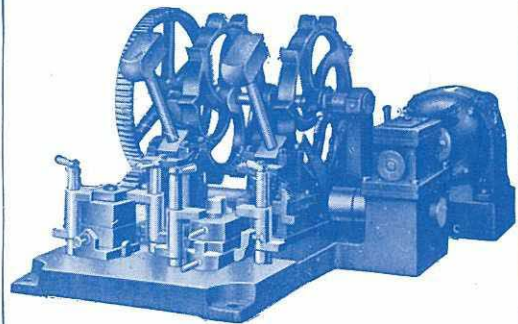
鐵道及鑛山用貨車掛衡橋  
專賣特許東京衡機自動秤  
衡器及天秤類一般



東京衡機アムスラー型三百應耐壓及彎曲試驗機  
特許東京衡機式改良振子動力計附



商工省標準「セメント混合機」  
(スタインブリックシユメルツアー型)



商工省標準鐵槌機(ペーネマルテンス型)

# THE "KOJIGAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 14, NO. 12

Published Monthly by the Koji-Gaho-sha  
Tokyo Japan.

大正十四年七月二十八日第三種郵便物認可  
昭和十三年十一月二十六日印刷 第 一 〇 〇 本  
昭和十三年十二月一日發行(毎月一回一日發行)

土木  
建築  
工事  
畫報

第十四卷

第十二號

# SLUMP TEST

混凝土試験の

最も簡便なる方法

## 貴下の現場

では混凝土にどんな試験を施して居りますか?

混凝土の稠度(Consistency)を試験して建造物に一定の強度を與へる爲のスラムテストこそ、凡ての混凝土工事を合理的ならしめ、その精密と安全を保證する唯一の最も簡便な試験です。用具は……

- |            |     |                     |     |
|------------|-----|---------------------|-----|
| 1. スランプコーン | 壹 個 | 4. スコープ             | 壹 個 |
| 2. 搗 棒     | 壹 本 | 5. 檢寸定規             | 壹 本 |
| 3. コ テ     | 壹 個 | 6. スランプ<br>テスト 記入用紙 | 百 枚 |

以上一組を箱入として、工事畫報社の工事研究會で製作分讓して居ります。用法とテストの記入法などカードに印刷して箱蓋に貼付してありますから、工事監督の工夫君にても助手君にても簡単に使用出来ます。

一組臨時定價 金 20 圓 荷造料運賃内地壹圓五拾錢  
同 上 海 外 參 圓

東京丸ノ内三丁目六番地(電話丸ノ内(23) 2633, 振替東京 70265,)

工事畫報社内 工事研究會

定價金七十錢  
満・鮮・臺定價七十七錢

送  
二錢料